



2017年9月期
第4四半期（通期）決算説明会

2017年11月9日

株式会社セプテーニ・ホールディングス
www.septeni-holdings.co.jp
証券コード：4293

1. 四半期連結決算概要
2. ネットマーケティング事業
3. メディアコンテンツ事業
4. 2017年9月期 通期レビュー
5. 2018年9月期の方針及び2Q累計業績予想
6. 補足資料

- 2017年9月期より、ノンコア事業（アクセルマーク）を連結除外しており、比較対象となる2016年9月期の連結P/Lを遡及修正し、同事業の損益を「非継続事業」に組み替えて表示しております。
- 2016年9月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しております。
- 従来の「売上高」は参考情報として任意開示とする一方、IFRSに基づく指標として「収益」を開示しております。ネットマーケティング事業の大半を占める広告代理販売における収益は、マージン部分のみの純額計上となります。
- 事業の実態をより適切に表現するため、「Non-GAAP営業利益」を任意で開示しております。Non-GAAP営業利益とは、IFRSに基づく営業利益から、減損損失、固定資産の売却損益等の一時的要因を調整した恒常的な事業の業績を測る利益指標です。
- 本資料の数値は、単位未満を四捨五入して表示しております。

1. 四半期連結決算概要

連結

収益 3,864百万円 (前年同期比9.6%増)

Non-GAAP営業利益 585百万円 (前年同期比43.5%減)

メディアコンテンツ事業の収益拡大により増収を確保

ネット
マーケティング
事業

収益 3,595百万円 (前年同期比6.2%増)

Non-GAAP営業利益 1,033百万円 (前年同期比22.6%減)

ソーシャル・動画広告を中心に取扱高が伸長し、増収に反転

メディア
コンテンツ
事業

収益 355百万円 (前年同期比81.8%増)

Non-GAAP営業利益 -322百万円 (前年同期比154百万円減)

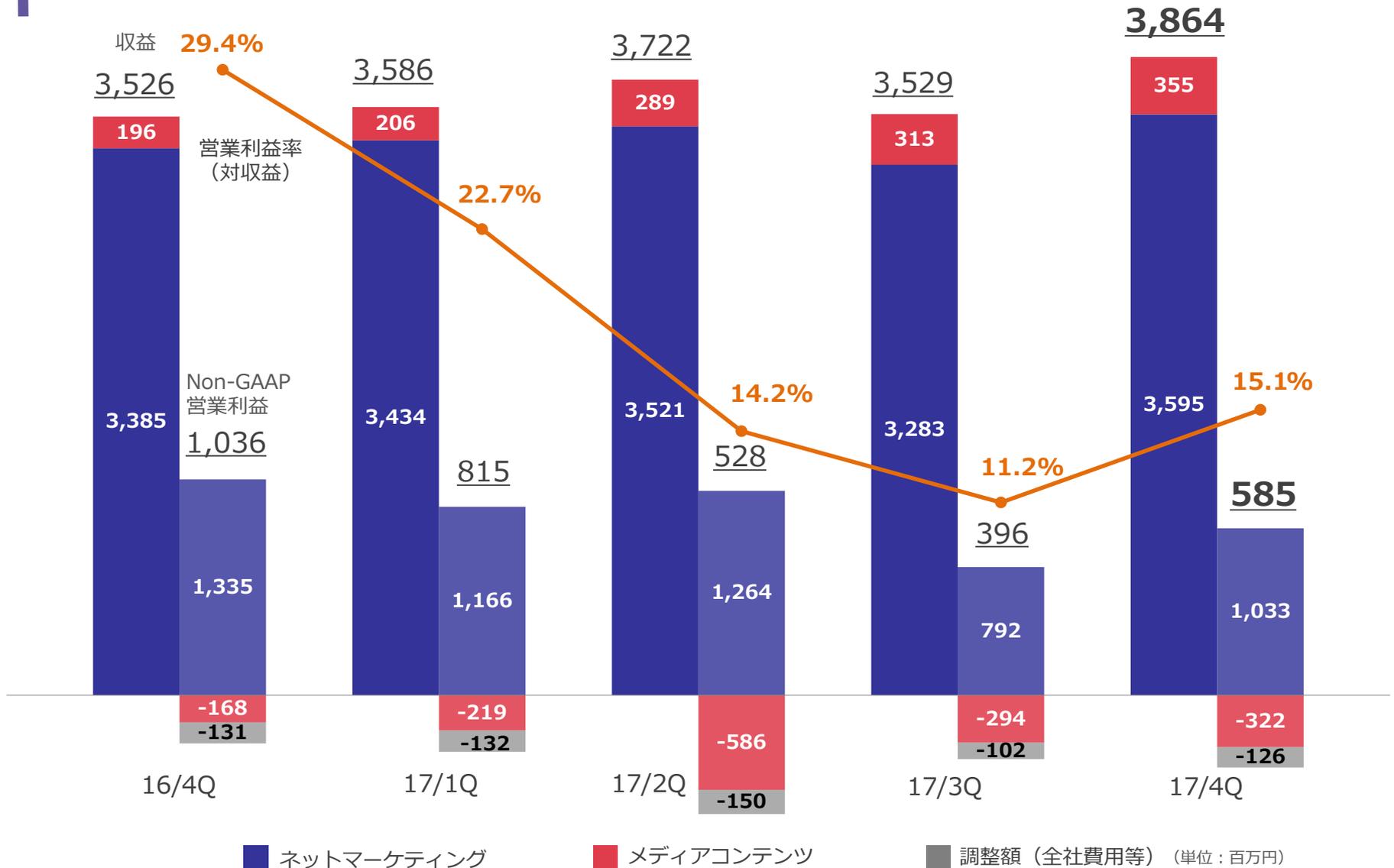
ブランド広告市場の開拓が進み、収益拡大に貢献

ネットマーケティング事業へのテコ入れが奏功し、収益・Non-GAAP営業利益・親会社帰属当期利益ともに業績予想を上回る

GANMA!における広告商品の拡販が進み、前年同期比で338百万円 (+9.6%) の増収

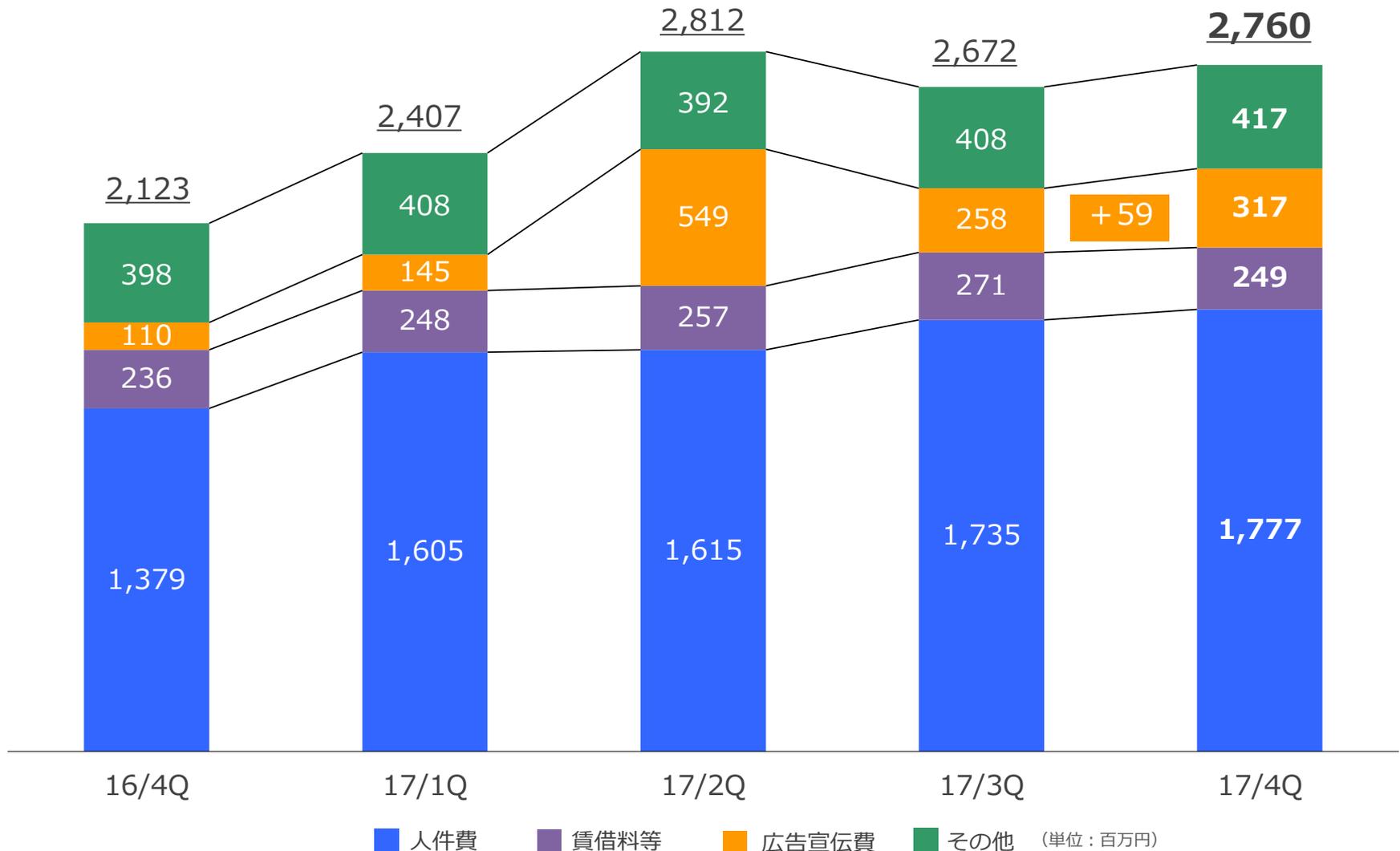
(単位: 百万円)	2017年9月期 4Q			2016/9期 4Q		2017/9期 4Q 業績予想
	金額	比率	前年同期比	金額	比率	
収 益	3,864	100.0%	+9.6%	3,526	100.0%	3,720
売上総利益	3,352	86.7%	+6.1%	3,158	89.6%	—
販売管理費	2,760	71.4%	+30.0%	2,123	60.2%	—
Non-GAAP 営業利益	585	15.1%	-43.5%	1,036	29.4%	420
営業利益	583	15.1%	-43.8%	1,036	29.4%	—
継続事業からの 当期利益	347	9.0%	-47.6%	663	18.8%	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	332	8.6%	-30.4%	477	13.5%	164
【参考】売上高	18,350	—	+0.9%	18,185	—	16,974

両事業ともに前年同期・前四半期を上回る収益の拡大



※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益（下線付数値）は一致しない

マンガコンテンツ事業におけるプロモーションを中心に317百万円の広告宣伝費を計上



2. ネットマーケティング事業

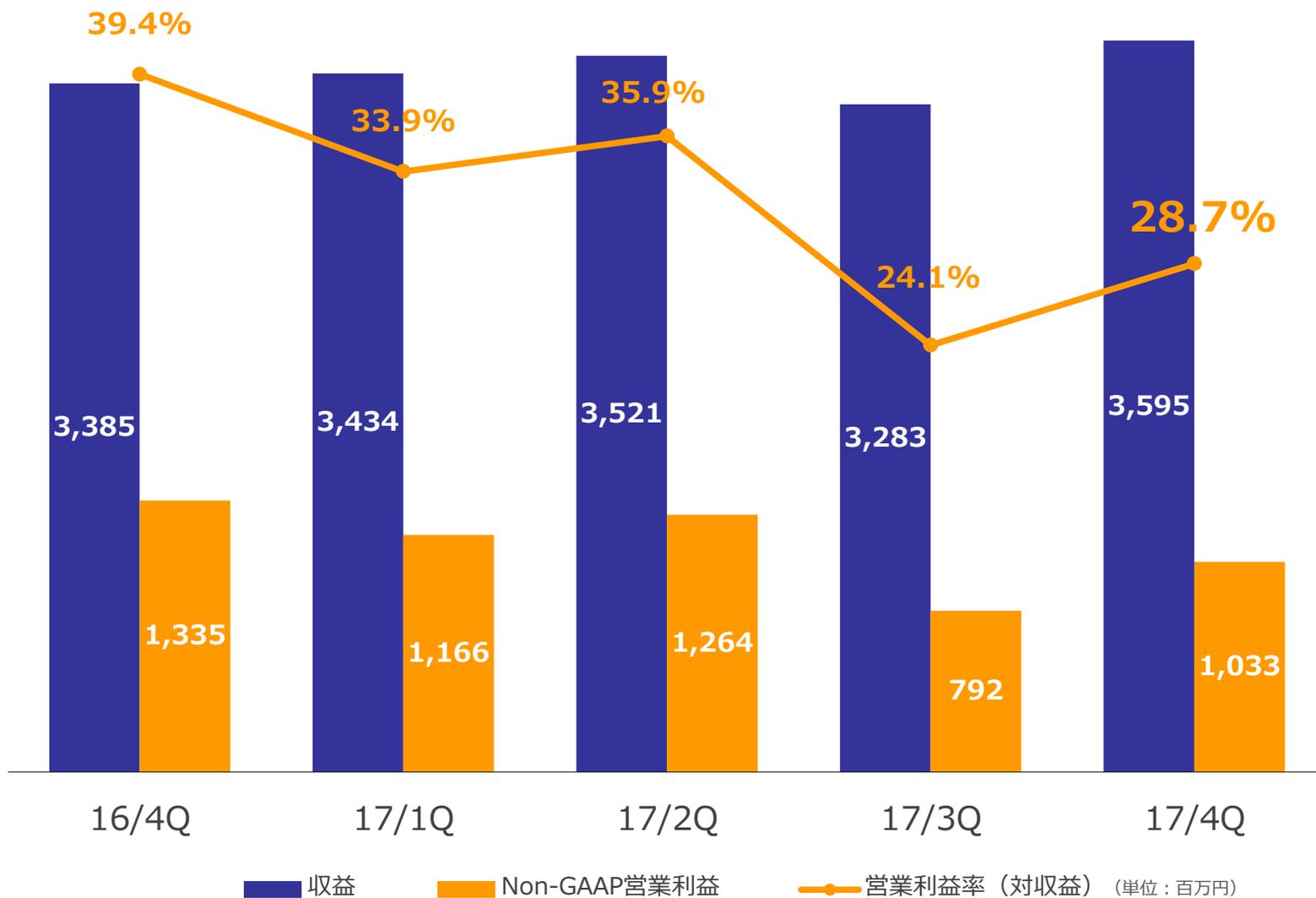
取扱高、収益ともに前年同期を上回る着地

ソーシャル・動画広告の伸長により収益・Non-GAAP営業利益ともに業績予想を上回る

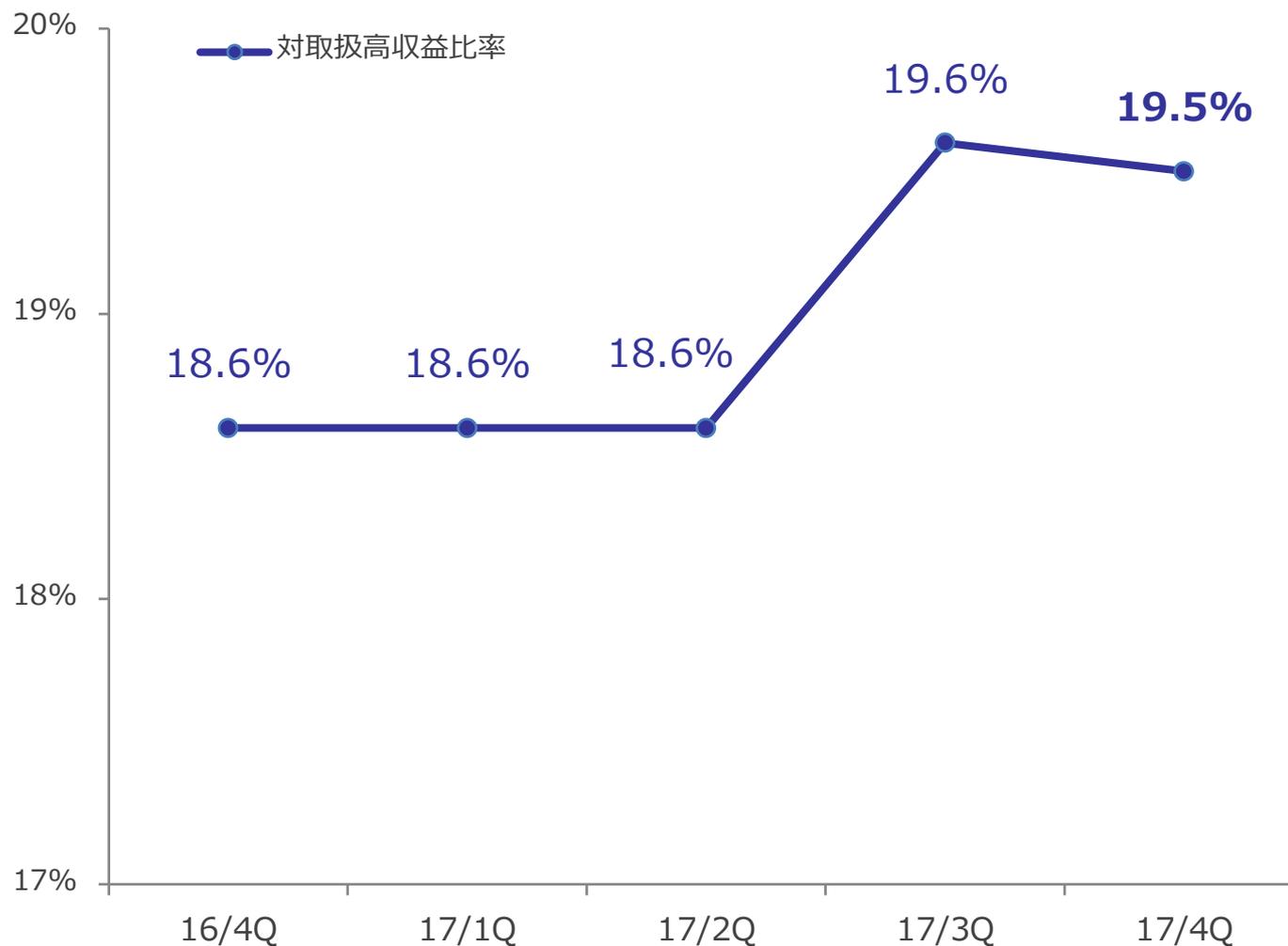
大型案件の出稿減の影響を受けるも、その他案件は新規も含め順調に拡大

(単位：百万円)	2017年9月期 4Q			2016/9期 4Q (前年同期)		2017/9期 4Q 業績予想
	金額	比率	前年同期比	金額	比率	
収 益	3,595	100.0%	+6.2%	3,385	100.0%	3,411
売上総利益	3,201	89.0%	+3.4%	3,096	91.5%	—
販売管理費	2,164	60.2%	+22.8%	1,763	52.1%	—
Non-GAAP 営業利益	1,033	28.7%	-22.6%	1,335	39.4%	904
【参考】売上高	18,413	—	+1.1%	18,211	—	

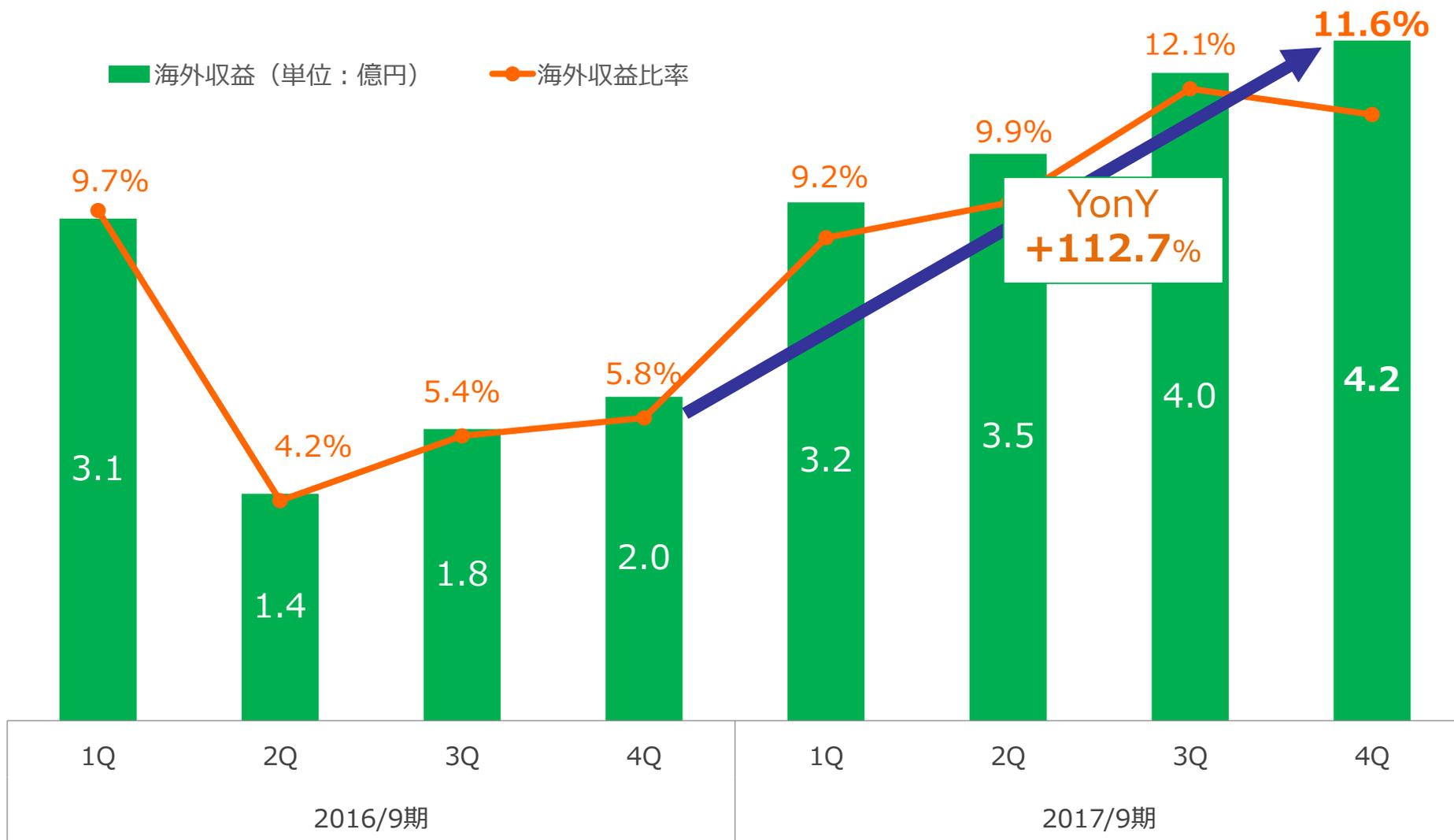
前年同期比・前四半期比で増収、Non-GAAP営業利益率も前四半期に対し **4.6pt** 向上



低採算案件が減少し、商品ミックスが改善
 取扱高に対する収益比率は前年同期比 **0.9pt**向上

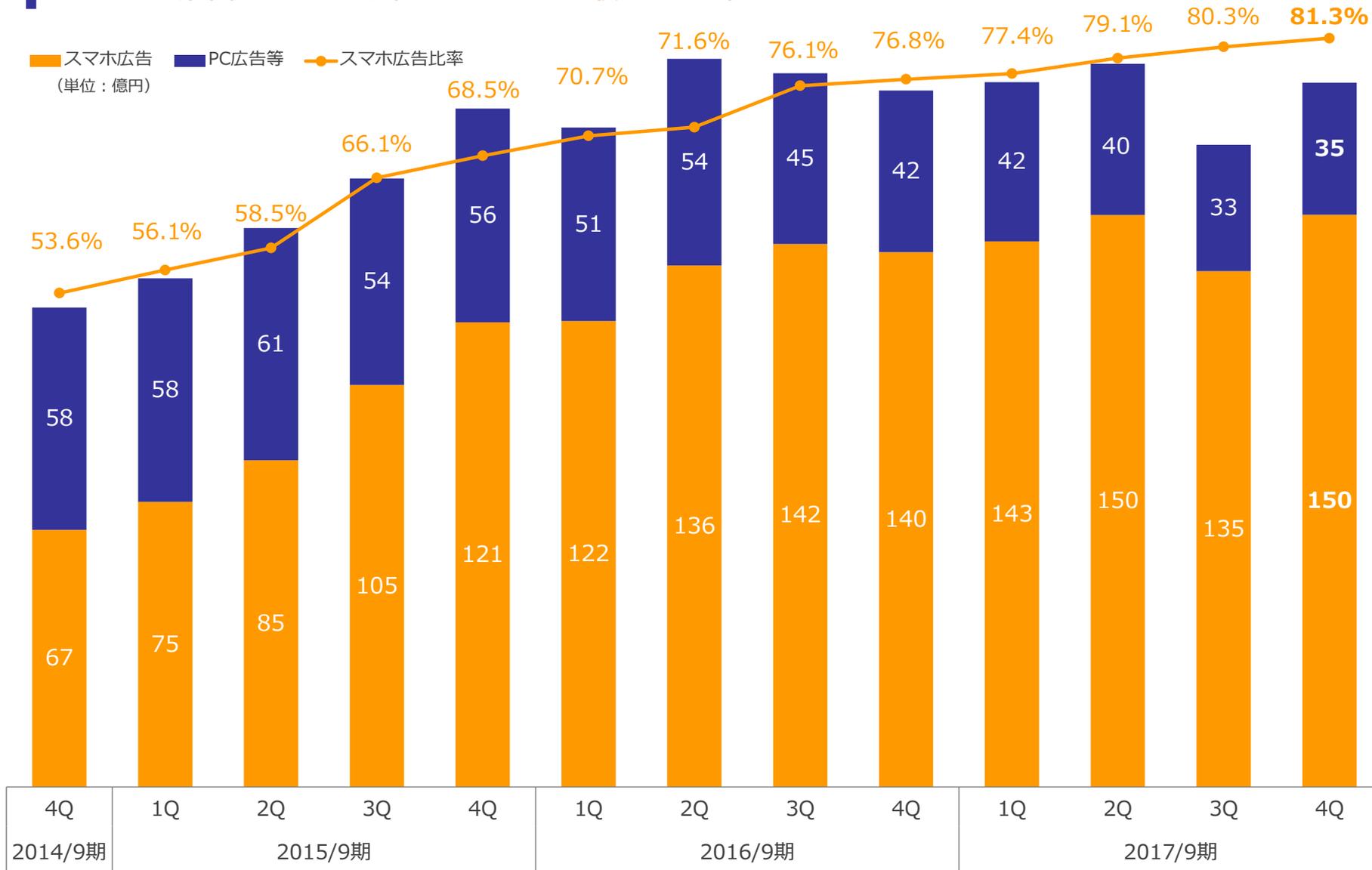


17/1Qに買収した子会社の成長等が牽引し、アジア圏を中心に収益が拡大

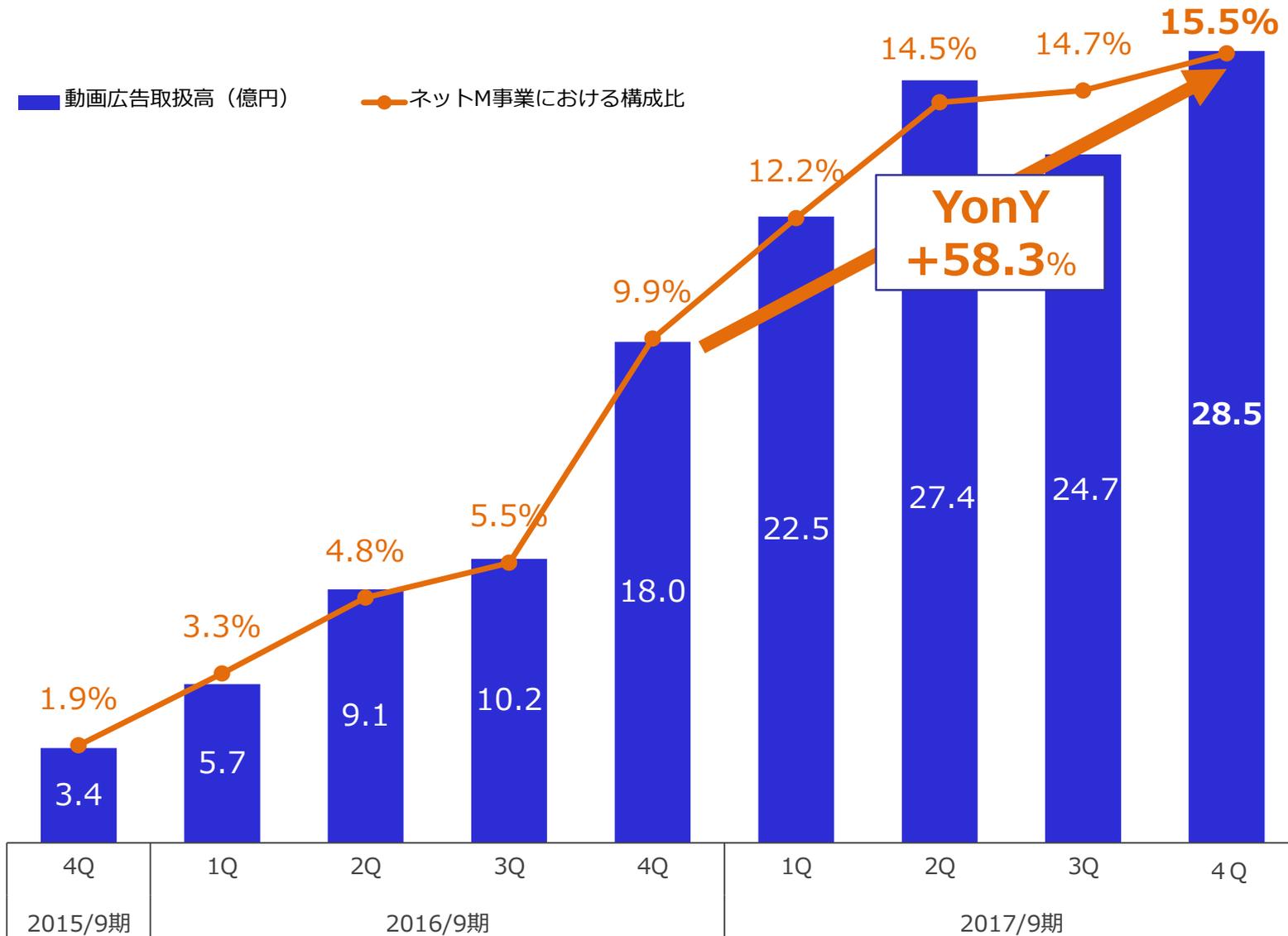


※海外収益の定義：海外顧客による日本国内への出稿案件(Out-In)、海外顧客による海外への出稿案件(Out-Out)における収益を集計したもの

スマホ広告取扱高、比率ともに過去最高を更新



取扱高は前年同期比で**+58.3%**の増収



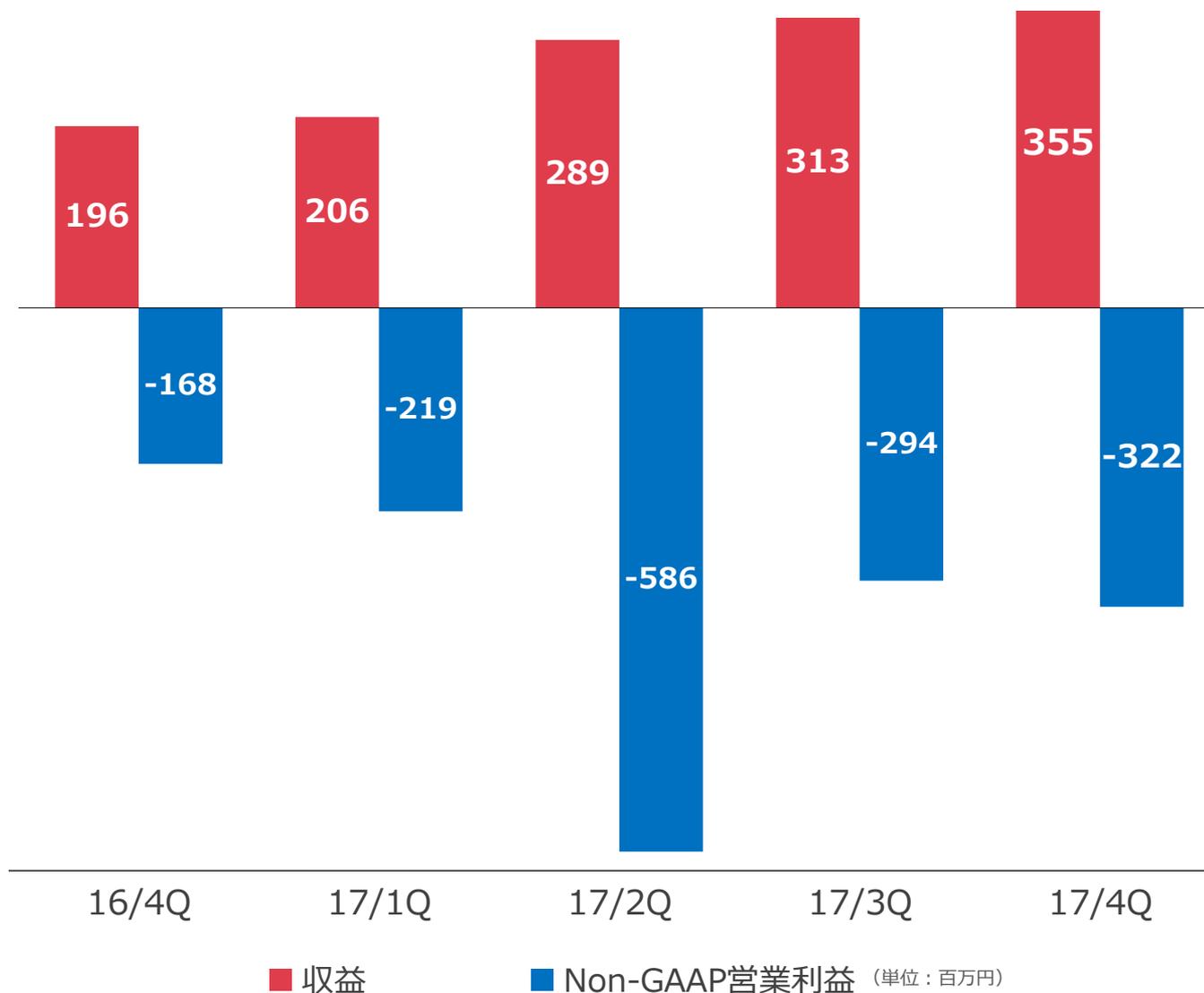
3. メディアコンテンツ事業

マンガコンテンツ事業はGANMA!における広告商品の拡販が進み、広告収益が増加

ブランド広告主を中心とした広告主数の順調な増加が、増収に貢献

(単位：百万円)	2017年9月期 4Q			2016/9期 4Q (前年同期)		2017/9期 4Q 業績予想
	金額	比率	前年同期比	金額	比率	
収 益	355	100.0%	+81.8%	196	100.0%	383
売上総利益	236	66.3%	+106.4%	114	58.4%	—
販売管理費	558	156.9%	+97.9%	282	144.1%	—
Non-GAAP 営業利益	-322	-90.6%	-154	-168	-85.8%	-359

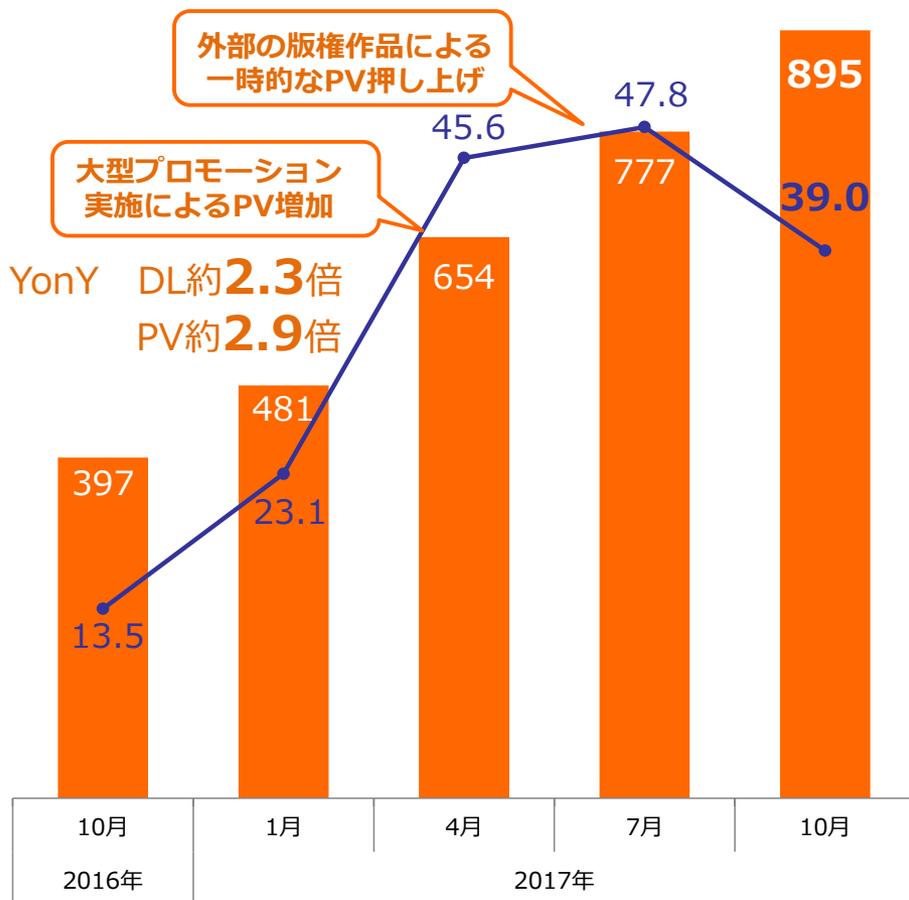
2QにおけるGANMA!の大型プロモーションの実施以降、継続的に成長



若年層を中心に利用者が堅調に拡大し、メディア規模、アプリ収益ともに順調に推移

GANMA! の月間PVとアプリの累計DL数

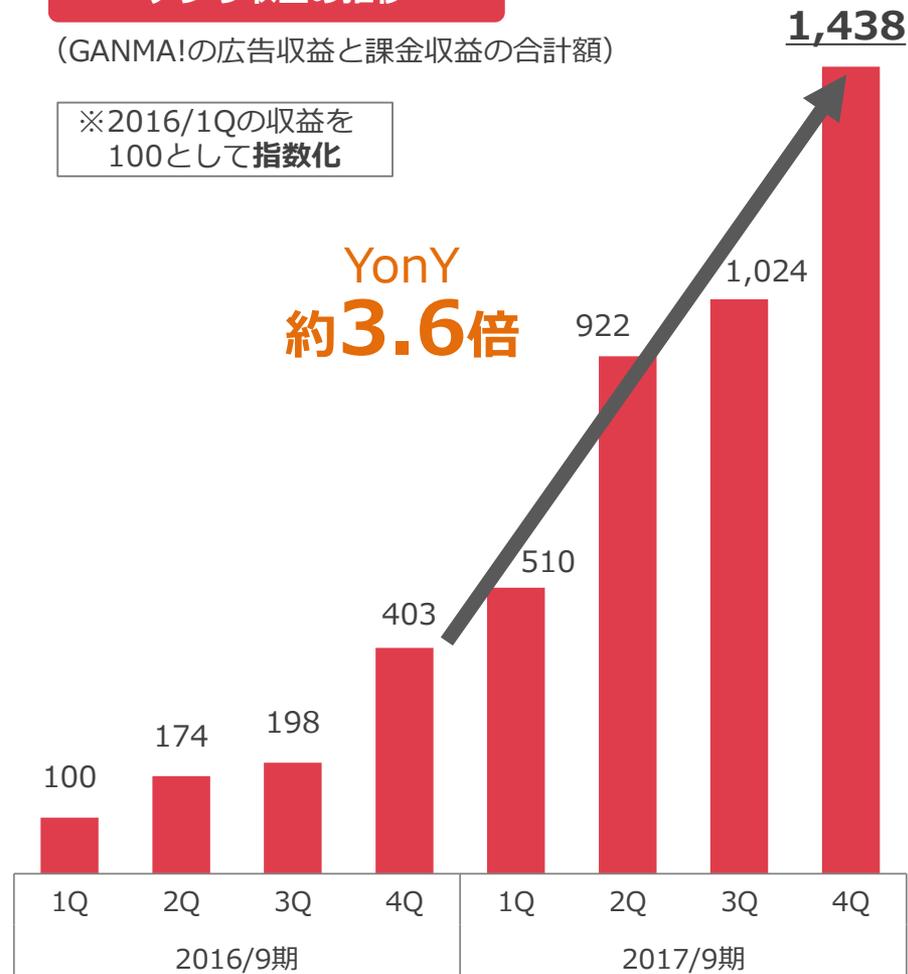
■ 累計DL数 (万) ● PV数 (億)



アプリ収益の推移

(GANMA!の広告収益と課金収益の合計額)

※2016/1Qの収益を100として**指数化**

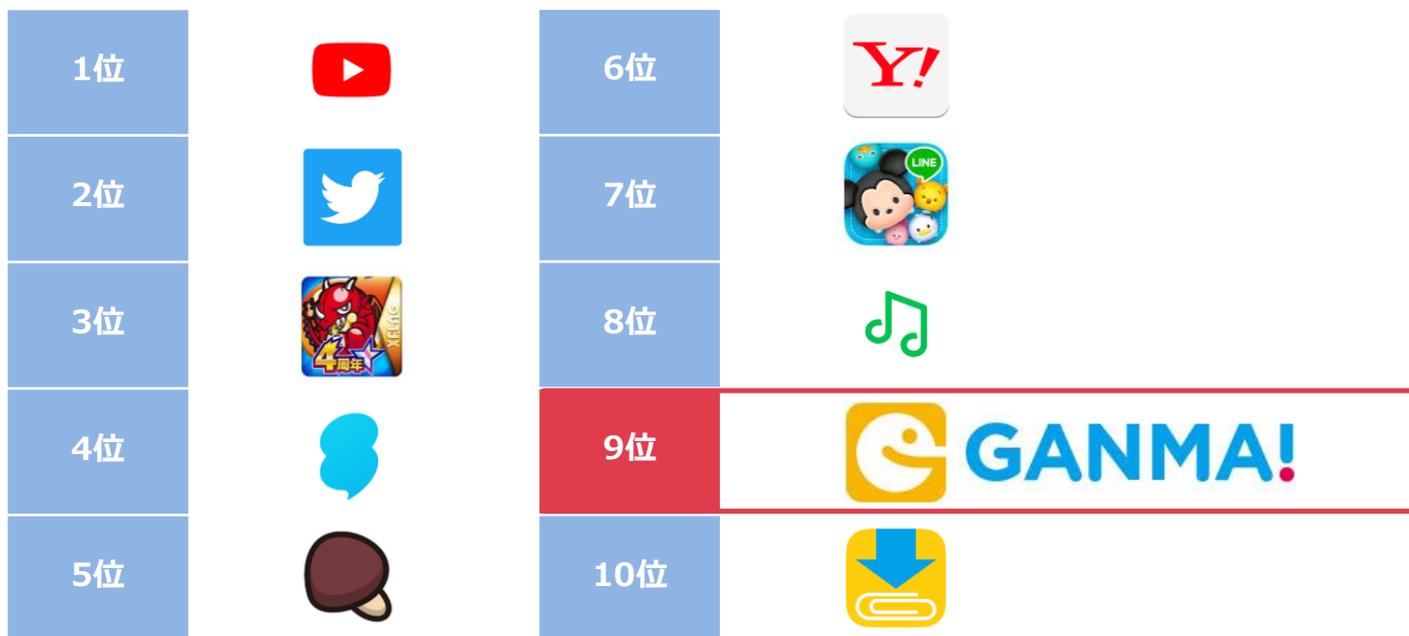


10代が今最も使っているアプリランキング TOP10（2017年6月時点）

第9位にランクイン

若年層を中心にユーザーベース拡大

アプリのMAUランキング



13歳～19歳の男女を対象に、iOS/Androidを合算したMAUデータを元にランキング化
 データ出典：App Ape（フラー株式会社）調べ

※プリインストールアプリ、メッセージアプリ「LINE」は除く
 ※MAU (Monthly Active Users):月に一度でもそのアプリを起動したユーザーの数

4. 2017年9月期 通期レビュー

連結

収益 14,702百万円 (前期比6.1%増)

Non-GAAP営業利益 2,325百万円 (前期比43.9%減)

収益は6期連続で過去最高[※]を更新

ネット マーケティング 事業

収益 13,833百万円 (前期比3.2%増)

Non-GAAP営業利益 4,255百万円 (前期比20.2%減)

大型案件の縮小がありながらも増収を確保

メディア コンテンツ 事業

収益 1,163百万円 (前期比93.5%増)

Non-GAAP営業利益 -1,420百万円 (前期比703百万円減)

TVCM含め約11億円のプロモーション投資により、収益が前期の約2倍に拡大

※2014年9月期以前は日本基準において相当する数値を算出して比較

収益・Non-GAAP営業利益・親会社帰属当期利益ともに業績予想を上回る着地

GANMA!への積極的な先行投資によりNon-GAAP営業利益は縮小するも、増収を確保

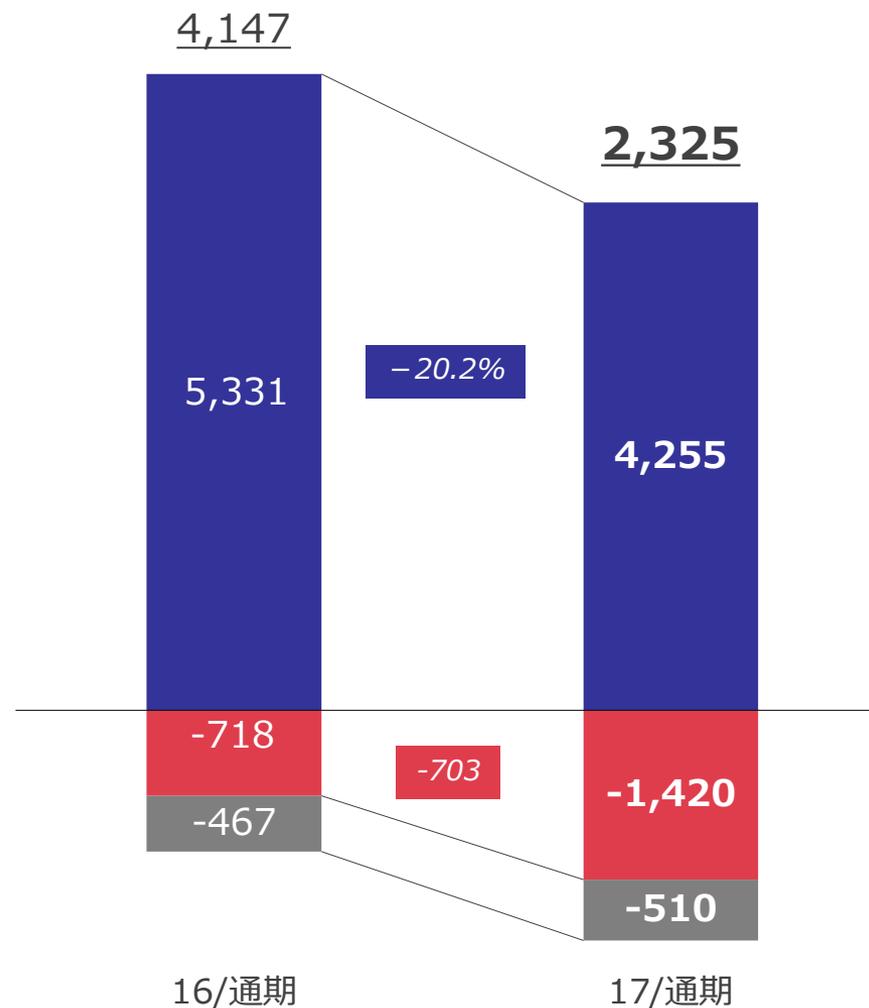
(単位：百万円)	2017年9月期 通期			2016/9期 通期 ※		2017/9期 通期 業績予想
	金額	比率	前年同期比	金額	比率	
収 益	14,702	100.0%	+6.1%	13,862	100.0%	14,558
売上総利益	12,989	88.4%	+4.1%	12,478	90.0%	—
販売管理費	10,652	72.5%	+27.6%	8,350	60.2%	—
Non-GAAP 営業利益	2,325	15.8%	-43.9%	4,147	29.9%	2,159
営業利益	2,248	15.3%	-45.9%	4,154	30.0%	—
継続事業からの 当期利益	1,338	9.1%	-50.7%	2,717	19.6%	—
親会社の所有者に 帰属する当期利益	2,211	15.0%	-12.2%	2,519	18.2%	2,043
【参考】売上高	72,375	—	-1.1%	73,203	—	71,000

※ノンコア事業の連結除外後、比較対象となる2016年9月期の連結P/Lを遡及修正し、同事業の損益を「非継続事業」に組み替えて表示

収 益



Non-GAAP営業利益

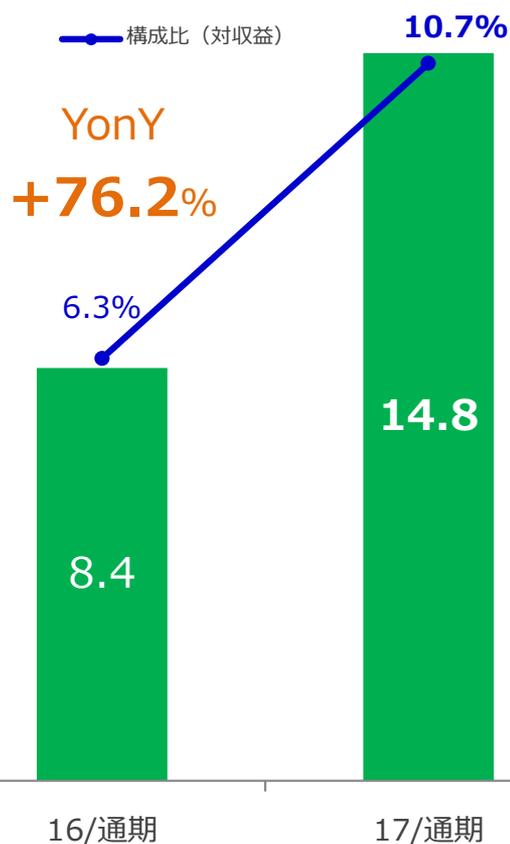


■ ネットマーケティング
 ■ メディアコンテンツ
 ■ 調整額（全社費用等）
 （単位：百万円）

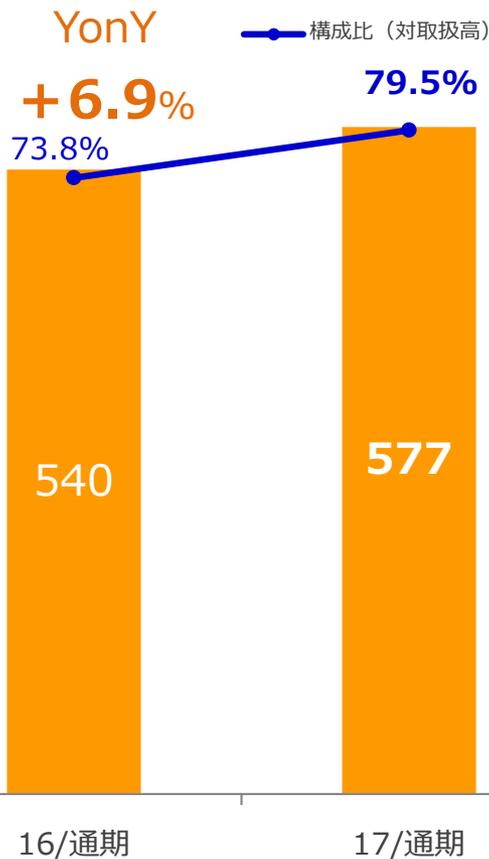
※セグメント間収益の消去分の記載を省略しているため、各事業収益の合計と連結収益（下線付数値）は一致しない

収益		Non-GAAP営業利益			
金額 (百万円)	前期比	金額 (百万円)	前期比	利益率	前期比
13,833	+3.2%	4,255	-20.2%	30.8%	-9.0pt

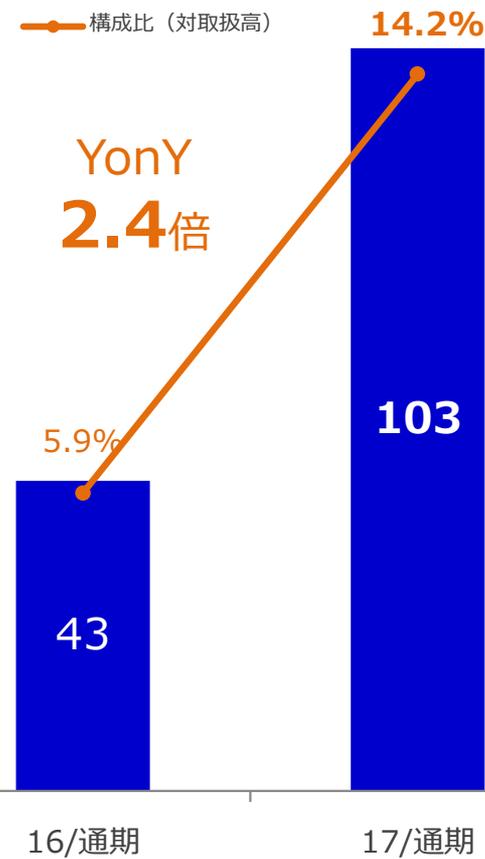
グローバル (収益 : 億円)



スマホ広告 (取扱高 : 億円)

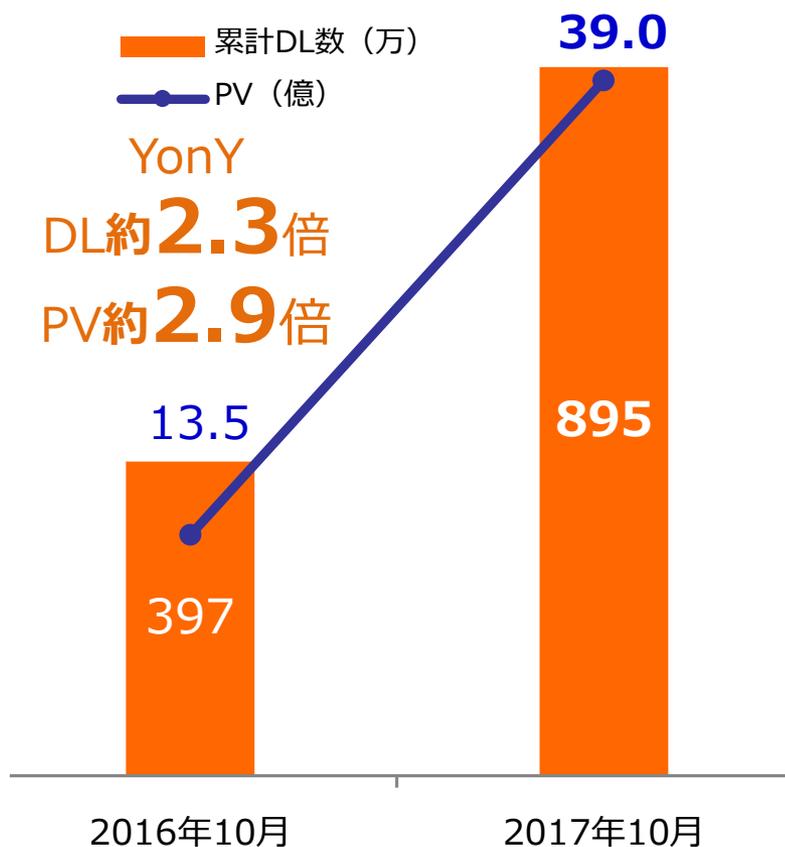


動画広告 (取扱高 : 億円)



収益		Non-GAAP営業利益			
金額 (百万円)	前期比	金額 (百万円)	前期比	利益率	前期比
1,163	+93.5%	-1,420	-703	-	-

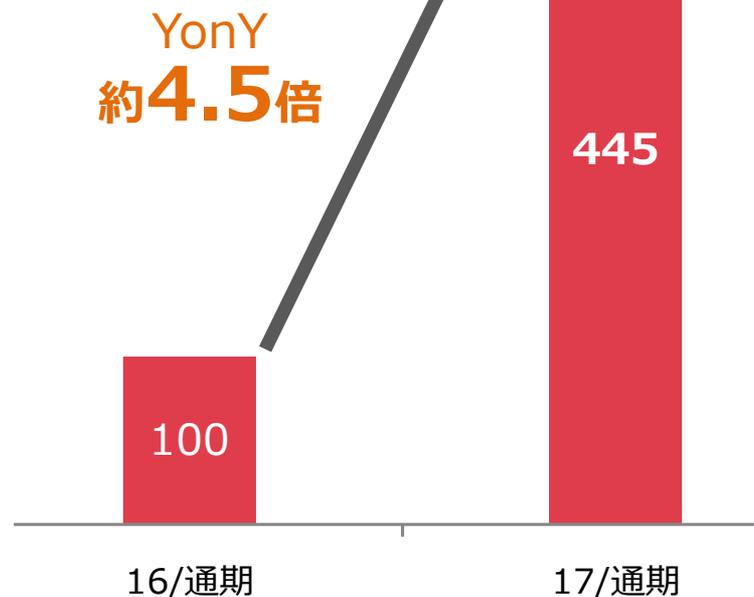
GANMA! の月間PVとアプリの累計DL数



アプリ収益

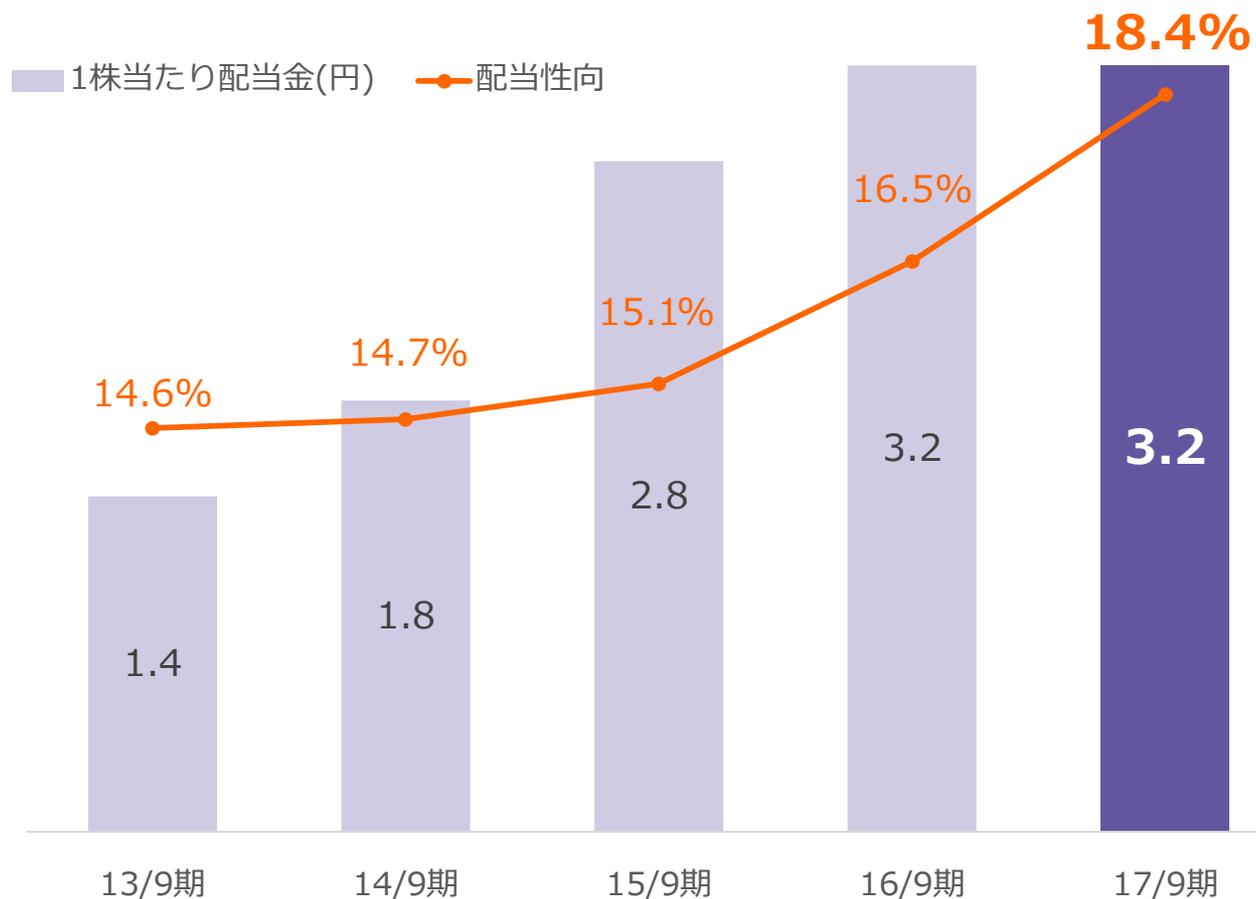
(GANMA!の広告収益と課金収益の合計額)

※2016年9月期の収益を100として**指数化**



業績の拡大に応じた適切な利益配分を基本としながら、配当の継続性・安定性にも配慮
親会社の所有者に帰属する当期利益に対する配当性向15%程度を目安に実施

2001年上場来減配は無く、2017年9月期 期末配当金は前期同額を予定



※2013年10月1日付で1:200の株式分割を実施、2016年10月1日付で1:5の株式分割を実施
上記グラフの過年度1株当たり配当金は、分割調整後の金額を算出し、比較

5. 2018年9月期の方針及び 2Q累計業績予想

海外を含めたネットマーケティング事業の着実な収益性向上
マンガコンテンツ事業でのメディア規模拡大を目指し、投資を継続

ネットマーケティング事業

「収益性向上と市場シェア拡大」

- 動画広告及び自社メディアの販売注力による国内市場での成長
- 顧客ミックス・商品ミックスの改善による収益性向上
- アジア圏を中心とした市場開拓強化

メディアコンテンツ事業

「メディア規模の拡大」

- 効果的な先行投資の実行によるユーザベースの拡大
- ブランド広告市場の開拓強化



経営基盤「継続的な人材投資による競争力の強化」

- 2017年10月より人事制度改定による人材育成と競争力強化
成長の源泉となる人材育成への積極的な投資実行、業績連動賞与分のコスト増を見込む

「当事者意識が高く起業家精神溢れる人材」に積極投資することで
企業価値向上、持続的成長の実現へ

社員一人ひとりのパフォーマンス最大化を目的として、蓄積した膨大な人材データのもと
マシンラーニングを軸とした人材育成エンジンを独自に開発・運用に成果



「働きがいのある会社（日本版）」ランキング

(実施：Great Place to Work® Institute Japan)

ベストカンパニーに選出 <6年連続>



「第6回 日本HRチャレンジ大賞」

(後援：厚生労働省、株式会社東洋経済新報社等)

奨励賞受賞



「第2回 HRテクノロジー大賞」

(後援：経済産業省、株式会社東洋経済新報社など)

管理システム部門 **優秀賞**受賞 <2年連続>

持続的成長の源泉となる人材育成への投資を積極実行、中長期的な競争力強化より多くの優秀な人材を採用し、早期戦力化、業績貢献につなげていくことを目的として、2017年10月より人事制度を改定

取組み事例	概要	実施時期
採用・育成の構造化	定量情報と統計技術を活用した採用・育成	2012年より 研究・開発
NEW 給与水準の 引き上げ	<p>現行年収を固定給与に置き換え、加えて新たに業績に連動した賞与を支給（個人の賞与額は人事考課に応じて決定）</p>	2017年10月～
フレックスタイム 制度の導入	時間にとらわれない効率的な働き方を推進	2016年10月～
NEW リモートワーク 環境の整備	場所にとらわれない多様な働き方を実現	2018年1月～
NEW 副業制度の導入	承認された範囲内での副業を許可し、個人のスキルアップを推奨	2017年10月～

ネットマーケティング事業はトップラインの堅調な成長により増収

メディアコンテンツ事業は広告収益を中心に大幅な増収

マーケティング投資を継続的に実行しながらも事業単体での営業損失幅は縮小

中長期的な競争力強化を目指した人材育成への投資実行により販売管理費の増額を見込む

前年同期にアクセルマーク(株)の株式売却に伴う、非継続事業からの当期利益を計上した反動により親会社の所有者に帰属する当期利益は大幅な減益を見込む

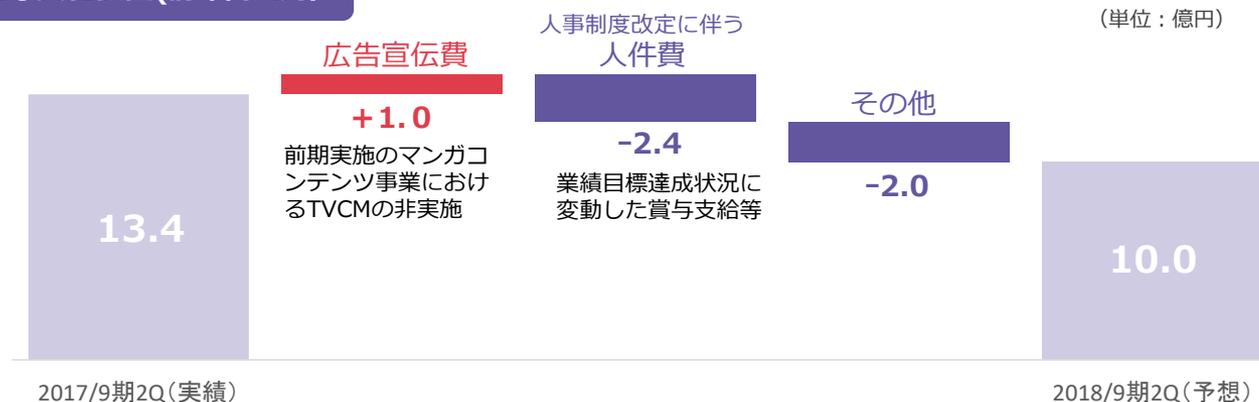
(単位：百万円)	2017年9月期 2Q累計実績	2018年9月期 2Q累計予想	予想成長率
収 益	7,309	8,000	+9.5%
Non-GAAP営業利益	1,343	1,000	-25.5%
【参考】 継続事業からの当期利益	855	-	-
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,743	600	-65.6%
【参考】売上高	37,268	37,500	+0.6%

- 2018年9月期より業績予想開示方針を変更します。引き続き予測困難な市場環境の変動要素は存在するものの、近年と比較し、足元では一定程度将来の見通しが立てやすい状況となったことなどを総合的に判断し、四半期毎に翌四半期業績予想を開示する従前方針から、半期毎の業績予想を開示する方針に変更を行うものであります。

(単位：百万円)	収 益			Non-GAAP営業利益		
	2017/9期 2Q累計実績	2018/9期 2Q累計予想	前年同期比	2017/9期 2Q累計実績	2018/9期 2Q累計予想	前年同期比
ネット マーケティング	6,955	7,370	+6.0%	3,037	2,650	-12.8%
メディア コンテンツ	495	800	+61.6%	-754	-570	+184
消去・全社	-141	-170	-29	-940	-1,080	-140
連 結	7,309	8,000	+9.5%	1,343	1,000	-25.5%

- 従来より各セグメントへ配賦しておりました全社費用について、2018年9月期以降は配賦を行わない方針へ変更する予定でございます。当変更に伴い、上記のセグメント別Non-GAAP営業利益は全社費用の配賦を行わない基準にて算出し、前年同期実績についても遡及修正しております。

2Q累計Non-GAPP営業利益の主な変化要因(前年同期比)



業績目標

Non-GAAP営業利益：100億円

基本方針

広告事業をグローバルに伸ばす

強いメディアをつくる

スマホの次に投資する

各事業のスタンス

ネット
マーケティング
事業

広告事業を**グローバル**に伸ばす

【スマホ広告市場についての環境認識】

国内市場は徐々に成熟化へ向かう一方、
グローバルではエコシステムが充実し高成長が続く

【国内市場】

スマホ・ソーシャル領域で築いたポジショニングの強化により
シェア拡大と収益性向上を目指す

【海外市場】

オーガニックな事業成長とM&Aの両輪で次の成長ドライバーに

メディア
コンテンツ
事業

強い**メディア**をつくる

GANMA!を自社メディアとしてグループ収益の柱に育成
自社メディアの規模拡大により、ネットマーケティング事業との
セグメント間シナジーを強力に生み出す

本日はありがとうございました。

お問い合わせ先

株式会社セプテーニ・ホールディングス

www.septeni-holdings.co.jp

経営企画部 IR課

TEL : 03-6857-7258 E-mail : ir@septeni-holdings.co.jp

このプレゼンテーション資料に記載された弊社の将来に関する意見や予測及び計画は、2017年11月9日現在の弊社の判断であり、その正確性を保証するものではありません。
世界情勢の変動に関わるリスクやその他様々な不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。

6. 補足資料

2017年9月30日現在

会 社 名	株式会社セプテーニ・ホールディングス
代 表 者	代表取締役 グループ社長執行役員 佐藤 光紀
所 在 地	東京都新宿区西新宿8-17-1 住友不動産新宿グランドタワー
証 券 コ ー ド	4 2 9 3 (JASDAQ)
事 業 内 容	インターネット事業を中心に事業展開する企業グループを統括する持株会社
設 立 日	1990年10月29日
資 本 金	2,113百万円
発行済株式数	138,819,000株 (うち自己株式10,724,155株) [※]
連結従業員数	1,306名 (従業員) うち1,083名 (正社員)

※役員報酬BIP (Board Incentive Plan) 信託が保有する当社株式1,739,200株は含んでおりません。

純粋持株会社

(株)セプテーニ・ホールディングス

2017年11月9日現在

ネットマーケティング事業

(株)セプテーニ	インターネット広告	Septeni Asia Pacific Pte. Ltd.	アジア太平洋地域におけるインターネット広告事業
MANGO(株)	SEMオペレーション	Septeni America, Inc.	北米地域におけるインターネット広告事業
(株)ハイスコア	スマートフォンマーケティング支援事業	Septeni Europe Co.,Ltd	欧州地域におけるインターネット広告事業
(株)セプテーニ・オリジナル	ウェブサービスの企画・開発	七域広告（北京）有限公司	中国におけるインターネット広告事業
Septeni Ad Creative(株)	インターネット広告クリエイティブの企画・制作	SEPTENI TECHNOLOGY CO., LTD.	ウェブサービスの開発等
(株)セプテーニ・クロスゲート	アフィリエイトネットワーク	JNJ INTERACTIVE INC.	韓国におけるインターネット広告事業
トライコーン(株)	CRMサービス事業	Lion Digital Global LTD	東南アジア地域におけるインターネット広告事業

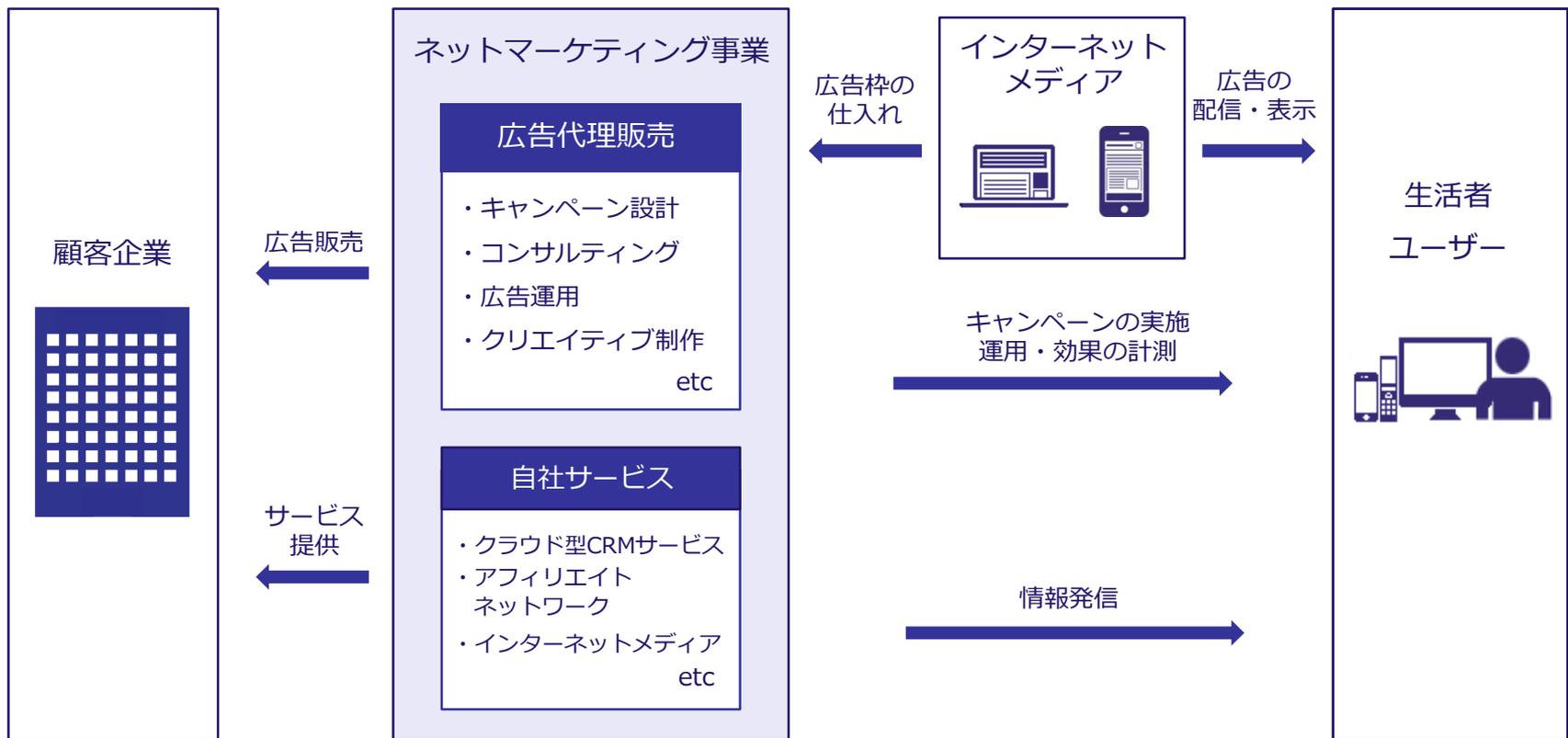
メディアコンテンツ事業

コミックスマート(株)	マンガコンテンツ事業	gooddo(株)	社会貢献プラットフォーム事業
(株)ビビビット	採用プラットフォーム事業	(株)Pharmarket	医療プラットフォーム事業

新規事業開発

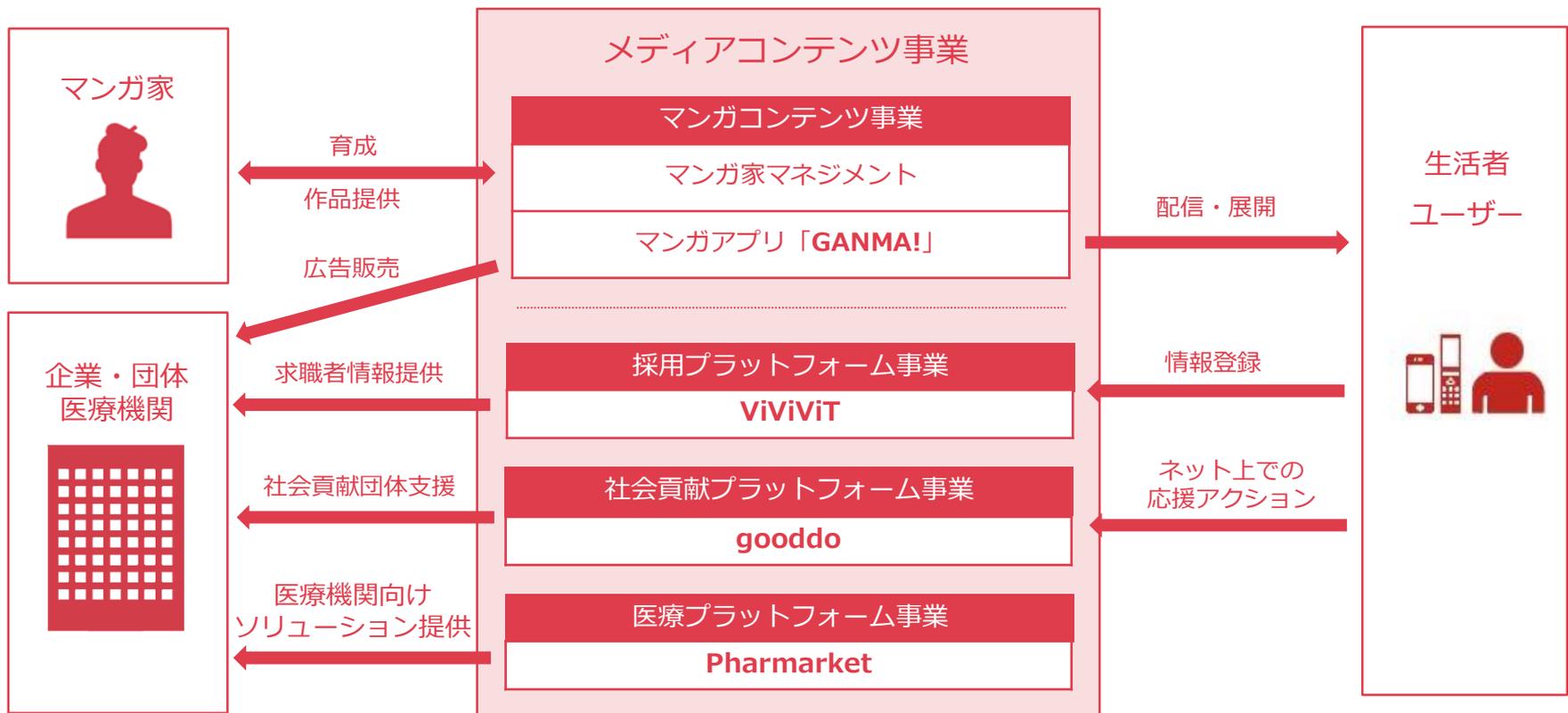
(株)セプテーニ・ベンチャーズ

インターネットを活用した包括的な**マーケティング支援サービス**を企業向けに展開。
 スマートフォン向けを中心としたインターネット広告の販売をはじめ、
自社サービスとしてクラウド型CRMサービスやアフィリエイトネットワーク等
 マーケティングプラットフォームの運営を手がける。



「マンガコンテンツ事業」では、**自社IP（知的財産）の企画・開発**を目的にマンガ家の育成・支援を手がけるとともに、専属作家によるオリジナル作品を中心に構成されたマンガアプリ「**GANMA!**」を**自社メディア**として運営。

その他に、社内ベンチャーから生まれた新規事業として、「採用」「社会貢献」「医療」に関するプラットフォーム型の事業等を展開。

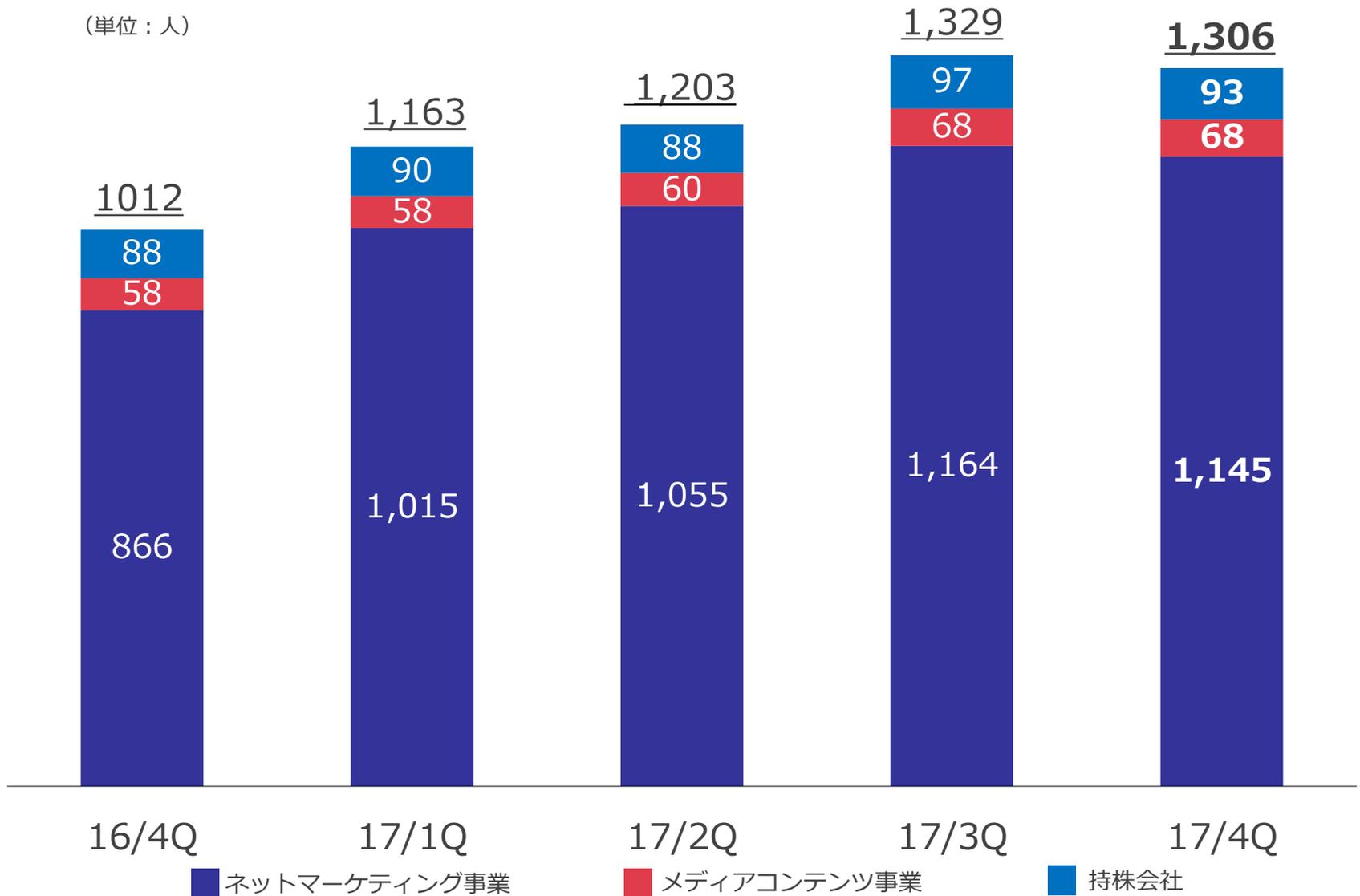


	2017年9月期 期末	2016年9月期 期末	増減	主な変動
(単位：百万円)				
流動資産合計	26,272	26,268	+4	
非流動資産合計	6,656	3,712	+2,944	のれん+1,670 持分法で会計処理の投資+1,332
資産合計	32,929	29,981	+2,948	
流動負債合計	13,387	14,191	△805	
非流動負債合計	4,319	744	+3,575	その他の金融負債+3,364
負債合計	17,705	14,935	+2,770	
資本合計	15,224	15,046	+178	自己株式取得+1,206 支配喪失を伴う子会社に対する 所有者持分△641 当期利益計上+2,206
負債・資本合計	32,929	29,981	+2,948	

(単位：百万円)

	2017年9月期 通期	主な内訳	2016年9月期 通期
営業活動による キャッシュ・フロー	△808	継続事業からの税引前当期利益 + 2,448 法人所得税の支払い△2,682 運転資本△495	3,209
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,706	有価証券の取得及び売却+403 支配獲得を伴う子会社株式の取得△1,374	△109
財務活動による キャッシュ・フロー	2,457	配当金の支払い△415 自己株式取得△1,206 長期借入れによるネットの資金流入+4,792	801
現金及び現金同等物に 係る換算差額	95		△114
現金及び現金同等物の 増減額	39		3,786
現金及び現金同等物の 期末残高	15,519		15,481

(単位：人)



※ノンコア事業（アクセルマーク）従業員数は16/4Qより遡及修正し記載